

特別展

あふれる

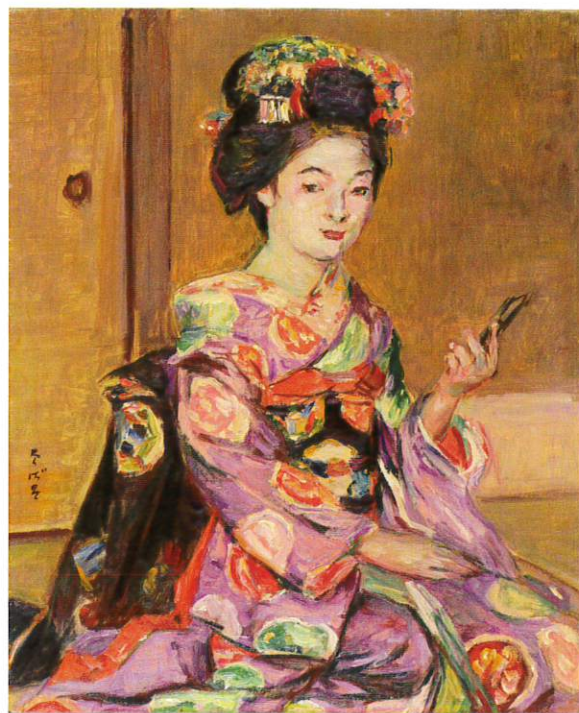
詩情と浪漫

—— 鏑木清方と中澤弘光 ——

Romanticism and Poetry: Kaburaki Kiyokata and Nakazawa Hiromitsu



鏑木清方《秋宵》明治36年(1903) 当館蔵



中澤弘光《舞妓(手鏡を持つ)》昭和33年(1958) 個人蔵

令和6年

10月26日[土] ▶ 12月1日[日]

開館時間 午前9:00～午後5:00(入館は午後4:30まで)

休館日 毎週月曜日(11月4日[月・振]は開館)、11月5日[火]、12日[火]

観覧料 一般：450円(310円)、小・中学生：220円(150円)

※()は20人以上の団体料金

主催 公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団(鎌倉市鏑木清方記念美術館指定管理者)

26 October – 1 December, 2024

[Hours] 9:00-17:00(Admission until 16:30) Closed on Mondays, (except for 4 Nov.), 5 and 12 Nov.

[Admission] Adults ¥450(¥310) Elementary and Junior High School Students ¥220(¥150)

*Group discount fee for 20 or more people is shown in parentheses.

鎌倉市 鏑木清方記念美術館

KAMAKURA CITY KABURAKI KIYOKATA MEMORIAL ART MUSEUM

〒248-0005 鎌倉市雪ノ下一丁目5番25号 Tel. 0467-23-6405

<https://www.kamakura-arts.or.jp/kaburaki/>



Romanticism and Poetry: Kaburaki Kiyokata and Nakazawa Hiromitsu

明治時代の後期、出版界が活況を呈すと、表紙絵や口絵、挿絵の需要も増え、多くの画家が仕事の一つとして絵を描きました。当時、挿絵画家として活躍していた鏗木清方は、浮世絵など日本の伝統絵画の研究を重ねつつ、西洋絵画にも触れ、日本画家として自分なりの表現を模索していました。清方と同じ頃に挿絵を描き、油彩画を描いた画家に中澤弘光(一八七四―一九六四)がいます。清方は、中澤の詩情豊かな画風を「理想的写実派」と高く評価し、舞妓や奈良の風景を題材に彼が描いた小品を所蔵するほどでした。さらに、彼が手がけた文芸雑誌『新小説』の表紙絵について、特に印象深いものとして、誰も追従することのできない独自の境地と評しました。

ともに東京に生まれ、清方より四歳年長の中澤。二人は、同じ頃に挿絵を描き、一人は日本画家、一人は洋画家として多くの作品を残しました。二人の作品や挿絵、スケッチを並べると、日本の風景や女性の美への共鳴するような視点と感覚を、感じることができます。

本特別展では、同じ時代を生きた二人の画家が、画材や技法も違う日本画と西洋画の枠を超え、ともに愛し描いた日本の情趣をご紹介します。



1



6



4



2



7



5



3

鏗木清方

- 1 《舞妓》昭和5年(1930) 当館蔵
- 2 《九月の海》(清方畫譜の九)『講談雑誌』口絵 大正5年(1916) 当館蔵
- 3 《暮れゆく沼》 明治33年(1900) 当館蔵

中澤弘光

- 4 《舞妓》明治36年(1903) 東京藝術大学蔵
- 5 《少婦》明治33年(1900) 東京藝術大学蔵
- 6 《山の湯》大正2年(1913) 個人蔵
- 7 《お稽古》『婦人世界』口絵 明治39年(1906) 県立神奈川近代文学館蔵

観八幡宮



展示解説

学芸員による展示解説を実施します。
日時:10月26日(土)、11月9日(土)、
23日(土・祝)
13:30~

日本画制作実演

現代に活躍する日本画家による制作実演です。詳しくは当館ホームページをご確認ください。
日時:11月16日(土)、17日(日)
13:30~15:30

美術講演会【要予約】

「清方と洋画家たちの作品からひもとく近代のよそおい(仮)」
日時:11月12日(火) 13:30~15:00
講師:山崎菜未(ポーラ美術館 学芸員)
清方が高く評価した岡田三郎助や中澤弘光ら洋画家たちの作品を通して、同時代のファッションや流行を読み解きます。詳しくは当館ホームページをご覧ください。

【交通案内】

JR横須賀線・江ノ電「鎌倉駅」下車、小町通りを北に徒歩7分左折。
※駐車場・駐輪場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい。

【Access】

7 minutes' walk towards north from East Exit of Kamakura Station (JR Yokosuka Line or Enoden Line)

次回予定

企画展 清方一家のお正月一明治・東京の年末年始—
令和16年12月7日(土)~令和17年1月13日(月・祝)